

知床

毎日新聞旅行

16～19日

知床でスノーシューと流氷ウォーキングのツアーである。流氷ウォーキングとは、流氷の上をドライスーツを着て歩き回ろうという遊びである。

しかし旅の初ッパナからトラブル続きである。まず、羽田へ行くまでに南武線が人身事故とかのために超ノロノロ運転で、登戸～川崎間の約30分の予定が1時間弱かかってアセッタ。羽田～女満別間の飛行

機は、気象条件が悪いので、羽田に引き返すことを了承済みという条件で飛び立った。まあ、そんな状況であったがナントカ初日の宿のウトロの“ホテル季風クラブ知床”までは着いた。途中で、“涛沸湖水鳥湿地センター”なるところで知床の予備知識を得たり、窓から餌をついばんでいるのか休んでいるのかの鶴を見たりした。

次の日の午前中はスノーシューハイキングである。北海道の雪はサラサラであり、本州



涛沸湖水鳥湿地センターから観る鶴



スノーシューハイキング



熊の爪痕



ガイドの佐々木さん

の北アルプスなどで触れるスノーシューの雪とは感触が違う。この日は暴風雪警報が出ていたが、林の中はのどかなものである。ガイドの佐々木さんはまだ若いキュートな女性である。はきはきと手際よく説明してくれる。木に刻み込まれた熊の爪痕や、移り変わる森を構成する木の違いや、その生成の歴史なども説明してくれる。ほとんど高低差も無いので、楽チンというか、物足りないというか。

午後は今回のメインイベントである流氷の予定であったが暴風雪警報発令中とあって、“知床世界遺産センター”の見学に変更になった。

日本での自然遺産は、まず屋久島と白神山地が1993年に指定されて、その後2005年に知床、2011年に小笠原諸島が指定されている。自然遺産を取得するためには以下のどれかの要件を備えていなければならない。

- 1．自然美
- 2．地形・地質
- 3．生態系
- 4．生物多様性

この内容の詳しい説明は世界遺産のホームページに詳しい。

<http://www.env.go.jp/nature/isan/worldheritage/info/index.html>

これらの条件のうち、知床は生態系と生物多様性が該当したそうである。これらはまさにアムール河に端を発してオホーツク海を1000km流れて知床に至った氷河がもたらした自然の光景ということである。

この日はこういったお勉強で暮れた。この“ホテル季風クラブ”の名物露天風呂にも入った。露天風呂に行くために長靴を借用する。行ってみて驚いた。脱衣場から浴槽までほんの三步くらいではあるが、なんと雪の上を歩かなければ目的を達成できない。露天風呂にもたくさん入ったがこんなのは初めてだ。





フレペの滝

翌日はフレペの滝までのスノーシューハイクである。前日と同じように森の中や平原状のところをスノーシューで歩き回る。片道 1km 程度であるのでこの日も楽勝である。しかも登り降りもほとんど無い。

フレペの滝は完全に青氷状に凍結していた。曇りの日ほど青く見えるらしい。晴れの日には反射してしまって白くなるので、このような日のほうが見栄えは良いようだ。

この日はこれで終了で、午後から女満別経由で帰る予定であった。しかし昨日あたりからの暴風雪のためにいたるところで道路が不通になってしまって、どうやらこの地域は孤立状態になっているらしい。これが意外な幸運をもたらした。あきらめていた流氷ウォークができるらしい。大手の流氷ウォークの漁業組合は休業であるが、隙間産業的な会社を



餌を食べる鹿

観光会社が探してきてくれて、何とかかなりそうだという。隙間産業だけあって、ドライスーツに着替えるための事務所なんて無い。車で運んできたドライスーツをバスの中で着替える。実は、昨年小笠原諸島へ行ったときに、ホエールウォッチングのためにウェットスーツを借りたら、チビでデブの私に合うウェットスーツが無くて、足元



を折り返して一応は着てみたものの海にもぐることはできなかった。あんな悲しい思いはしたくないと思っていたのであるが、今度は何とかあった。やはり知床クンダリまできたのである。流氷で楽しまなくちゃ。ツアーガイドが、“流氷ウォークをパスする人はいますか？”と声をかけたが一人もいない。“皆さん元気ですね”と驚いていたが、驚くほうがおかしい。“海に落ちたってもぐることはありませんと言われたが、流氷の密度が濃くて落ちる心配は無かったが、融けているところを探して水に浮かんでみたりして、初めての経験に浸った。

帰りは女満別の切符
が取れず、釧路経由で
帰ることになった。こ
のおかげで釧路湿原を
見ることや釧路名物の
丹頂鶴にめぐり合うこ
とができた。餌付けさ
れているので遠くから
人が見ても何の心配
もなく羽を休めている。
そしてたまに戯れる
がごとくに飛び回る。



鶴居村の鶴



飛び回る鶴



釧路湿原